

はじめてのおつかい くりやま駅前通り商店街

くりやまギフトカード加盟店会主催の「はじめてのおつかい」が、11月2日、駅前通り商店街で行われました。9回目を迎えた今年は、4歳から6歳までの未就学児25組30人が参加。まちの駅「栗夢プラザ」に集まった子どもたちは、お父さんやお母さんから頼まれた買い物



①駅前通り商店街の店員さんに笑顔で手を振り買い物をしました。

②両手に大きな買い物袋を持って駅前通りを歩きました。

求めて、財布と栗夢カードを持っておつかいに向かいました。花束やケーキなどを買った、尾江結良ちゃん「どの買い物も楽しかったです。またおつかいに行きたいです」と話していました。なお、おつかいの様子は編集後DVDにして、後日参加者へプレゼントされます。



新酒の醸造成功と安全を祈願しました。

良いお酒ができますように 小林酒造で祈醸祭

おいしい酒の完成と、蔵人の健康と安全を祈願する「祈醸祭」が、11月8日、小林酒造株式会社で行われました。南幌町や三笠市など、空知管内の9つの神社から宮司が参列。南幌神社の菱田裕一宮司など、3人の宮司が代表して神事を執り行いました。祈醸祭には小林米三郎

社長をはじめ関係社員18人が参列し、醸造の成功と安全を祈願されました。新酒の仕込み作業はこれから本格化し、来年3月下旬まで続きます。一番早い「新酒しぼりたて」は12月5日から出荷予定で、その他の新酒も熟成後に随時出荷されます。



勢いよく杵をふり下ろし、もちをつきました。

若い世代にもちつきを伝える 第44回伝承もちつき会

伝承もちつき会が11月10日、栗山寺で行われ、町民など約90人が参加しました。青少年育成会が若い世代にもちつきの文化を伝えるために始め、現在は桜丘町内会が実行委員会を結成して実施。用意された60kgのもち米を実行委員や参加者が交代でついでいき、あんこやきな粉など、

次の時代に伝統をつなぐ 栗山高校創立90周年記念式典

栗山高校の創立90周年を祝う式典が、11月9日、同校の体育館で行われました。式典では、これまで同校に貢献してきた方に対して、表彰状と記念品が手渡されました。高橋尚紀校長は「つないできた歴史と伝統を次の100周年に向けて受け継いでいきたい」と話していました。

また、出席した全校生徒132人を代表して、生徒会長の上村蓮さんが「伝統ある栗山高校生としての自覚を持ち、先輩方が築いてきた歴史を自分たちも積み重ねていきたい」とあいさつしました。



式典でお祝いのあいさつをする生徒会長の上村さん。

メロン男子が栗山町の魅力をPR 第5回ふるさとチョイス大感謝祭

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を企画・運営する、株式会社トラストバンクが11月16日・17日に横浜市で、日本最大のふるさと納税イベント「第5回ふるさとチョイス大感謝祭」を開催しました。全国約130の自治体が集まり、本町からは、若手役場職員6人で編

成された「メロン男子」が、町の特産品メロンなどを紹介。ご当地キャラとして参加したステージイベントを見た子どもが、メロン男子のファンになったとあってメロンの購入や寄付をしてくださる場面もあり、首都圏の人たちに町の魅力をアピールして交流を深めました。



町産さつまいものお菓子開発と販売を行う天使大学の学生たち。

栗山と由仁がさつまいも共同開発 第1回さつまいもフェスティバル

そらち南さつまいもクラブが主催する第1回さつまいもフェスティバルが、カルチャープラザ「Eki」で開催され、栗山と由仁の農業関係者など約40人が集まりました。7品目のさつまいもを食べ比べて一番おいしい品種を選んでもらい「由栗いも」と名付け、来年からブランド化さ

れます。また、天使大学の学生による、栗山産さつまいもを使ったお菓子の開発報告や試食、販売などを行いました。空知農業改良普及センター空知南東部支所の水間敦文支所長は「北海道のさつまいもは、甘みが強いのが特徴。ブランド化に向けてがんばってほしい」と講評しました。



①ご当地キャラとしてステージに立つ「メロン男子」6人。

②ふるさとチョイス栗山町出展ブースの様子。